

決算補足説明資料

2023年度 第2四半期 業績概要

注意事項

- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2023年3月1日～2023年8月31日)

1. 2023年度 上期 連結業績

- 2023年度 上期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2023年度 上期の取り組み

2. 2023年度 通期 連結業績見通し

- 2023年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2023年度 下期の取り組み
- 株主還元（配当金推移）

3. 参考資料

- 設備投資・研究開発費, 為替レート, 感応度
- B/S 構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 四半期売上収益推移
- 四半期受注推移

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ A Cサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ PMモータ

など



ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
 - FPD搬送・ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット

など



システムエンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ

など



その他

- ・ 物流サービス

など

1. 2023年度 上期 連結業績

2023年度 上期 実績

- ・ 生産が正常化し、受注残の着実な消化によって増収
- ・ 価格転嫁による採算性の改善に加え、円安影響などにより増益

	2023年度 上期 実績	2022年度 上期 実績	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売 上 収 益	2,890億円	2,635億円	+254億円	+9.7%
営 業 利 益	331億円	313億円	+18億円	+5.8%
税 引 前 利 益	345億円	335億円	+11億円	+3.2%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	242億円	237億円	+5億円	+2.2%

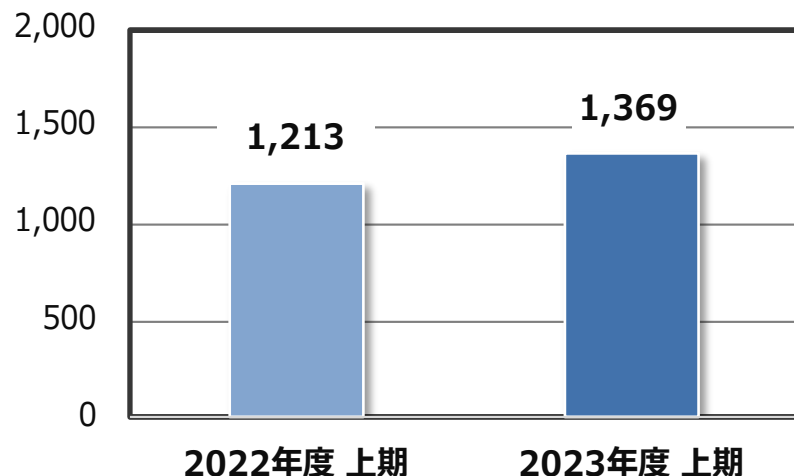
2023年度 上期 実績（セグメント別）

- ・ モーションコントロールはインバータ事業の生産正常化などにより増収増益
- ・ ロボットはEV関連や一般産業分野における底堅い需要を受け増収増益

	2023年度 上期		2022年度 上期		前 年 同 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売 上 収 益	2,890		2,635		+254	+9.7%
モーションコントロール	1,369		1,213		+156	+12.9%
ロボット	1,124		1,036		+88	+8.5%
システムエンジニアリング	269		246		+23	+9.3%
その他	128		140		▲12	▲8.7%
営 業 利 益	331	11.4%	313	11.9%	+18	+5.8%
モーションコントロール	204	14.9%	158	13.0%	+46	+29.3%
ロボット	130	11.6%	109	10.5%	+21	+19.3%
システムエンジニアリング	12	4.4%	10	3.9%	+2	+22.0%
その他	0	0.1%	4	2.5%	▲3	▲97.6%
消去または全社	▲15	-	33	-	▲48	-

主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



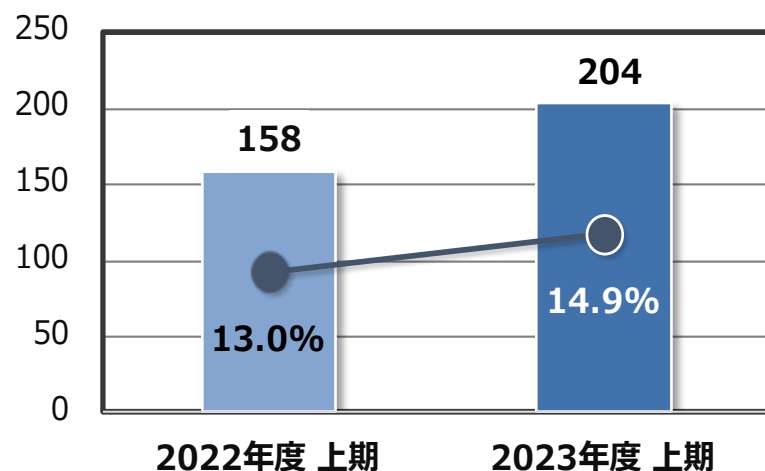
【売上収益】

- ACサーボは中国で太陽光パネル製造装置向けの販売が伸長した一方、日米韓で半導体・電子部品需要が低迷し減収
- インバータは生産の正常化で受注残の消化が進み、販売が伸長。米国のオイル・ガス関連や大型空調(HVAC)関連の需要が好調に推移するなど売上収益は大幅に増加

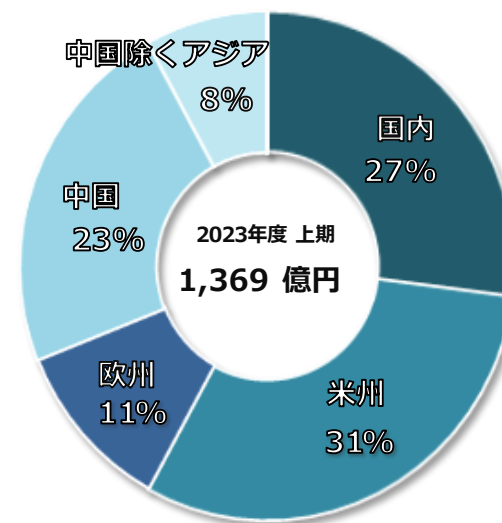
【営業利益】

- 昨年度来高騰した原材料費の価格転嫁などによって採算性が改善し増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

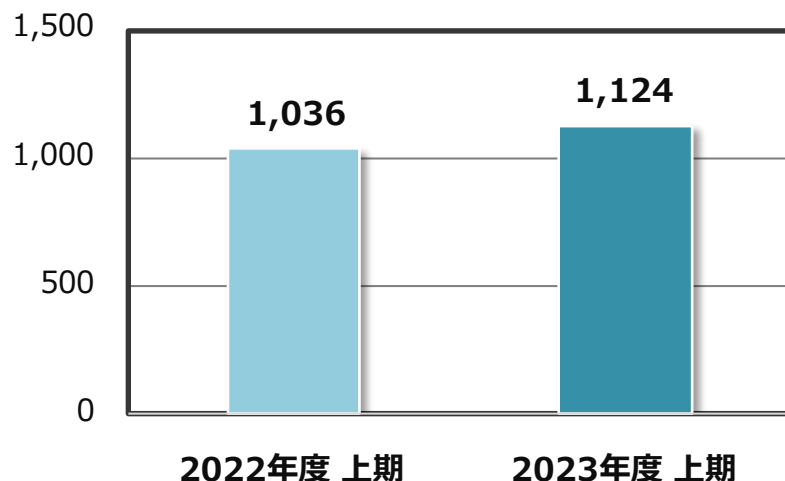


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 ロボット

売上収益(億円)



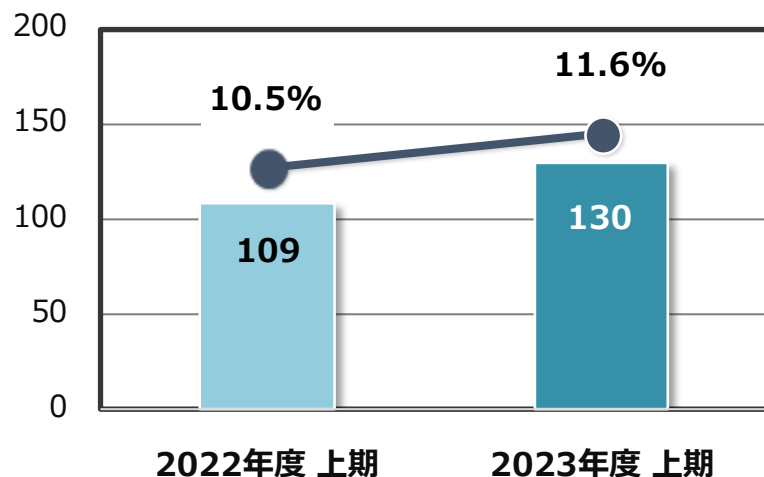
【売上収益】

- ・ グローバルにEV関連の設備投資が継続
- ・ 一般産業分野においても人件費高騰・労働力不足を背景に生産の高度化・自動化を目的とした投資が継続し売上増加

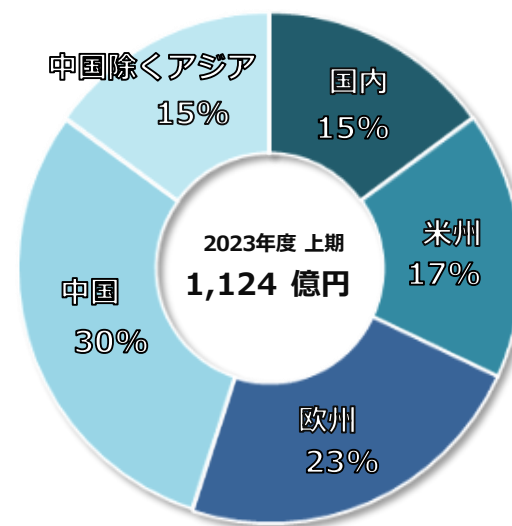
【営業利益】

- ・ i³-Mechatronicsソリューションによる高付加価値提案を行うとともに、部品の内製化や価格転嫁による採算性の改善を進めた結果、営業利益は増加

営業利益(億円)・営業利益率(%)

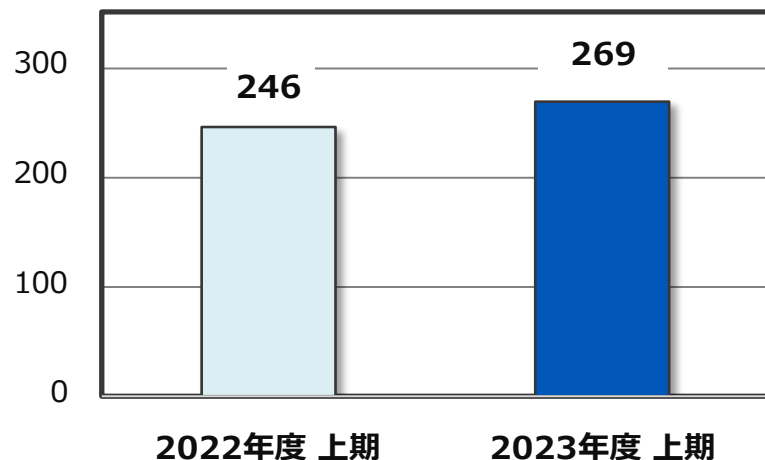


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



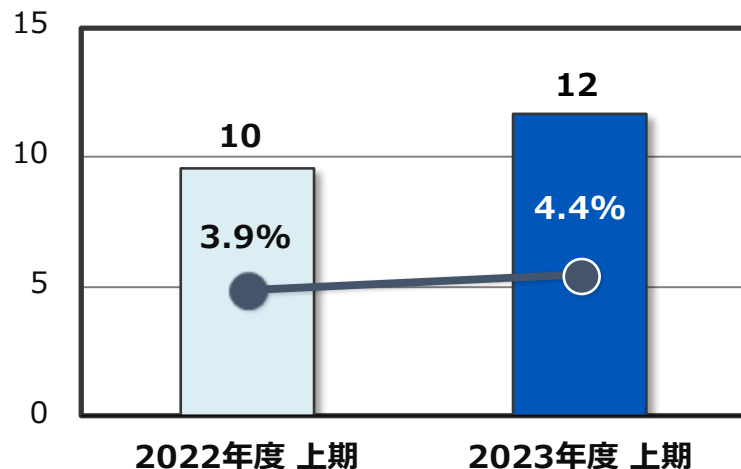
【売上収益】

- 国内の上下水道用電気システムや海外の港湾クレーン関連などの需要が堅調に推移し増収

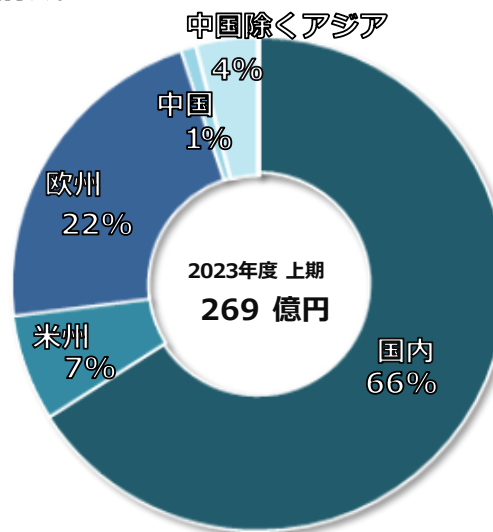
【営業利益】

- 売上増加による利益増加に加え、経費コントロールの徹底などにより増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

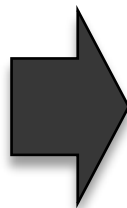
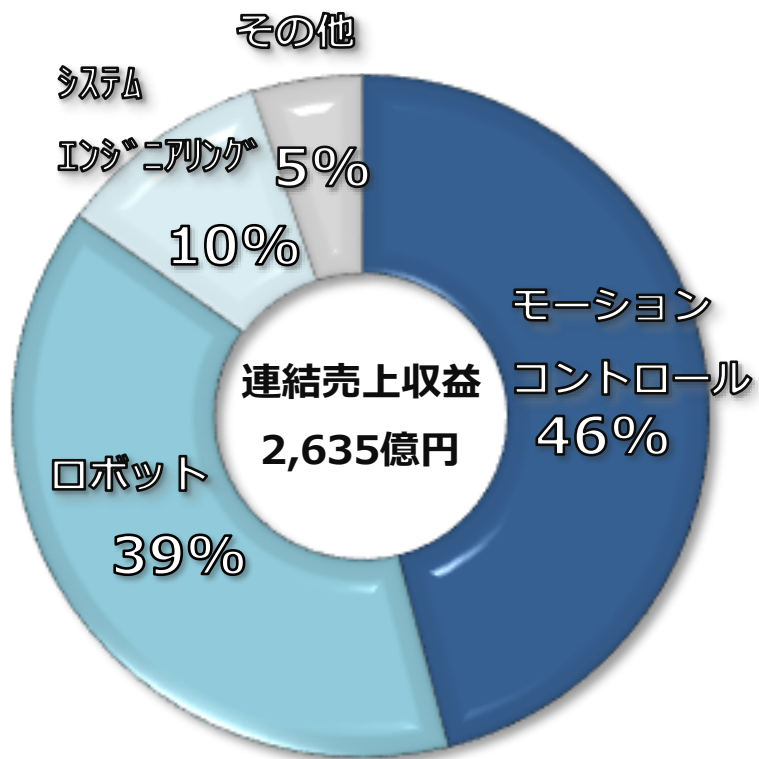


所在地別売上収益構成比

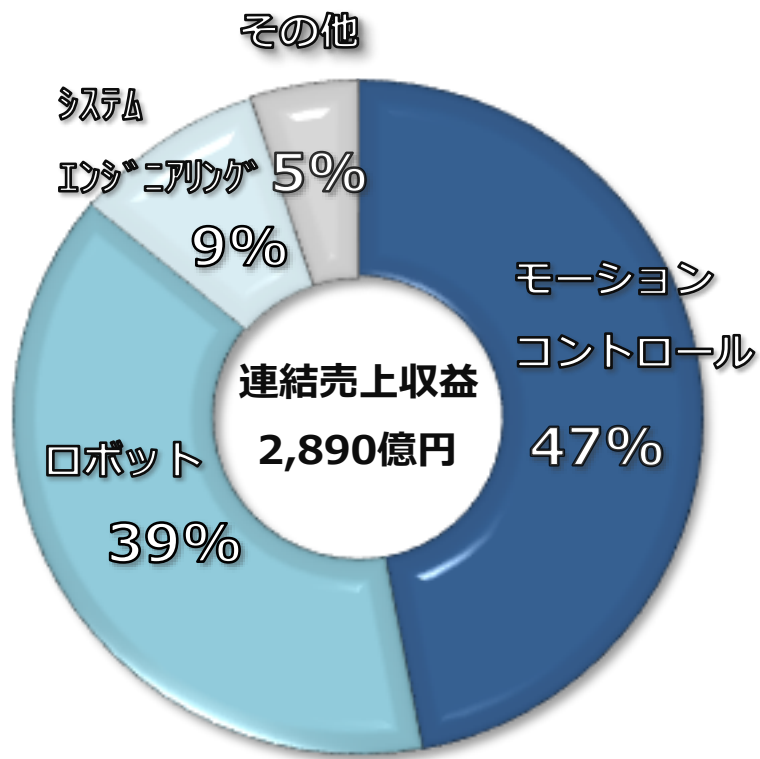


事業セグメント別売上収益構成比

2022年度 上期



2023年度 上期



所在地別売上収益

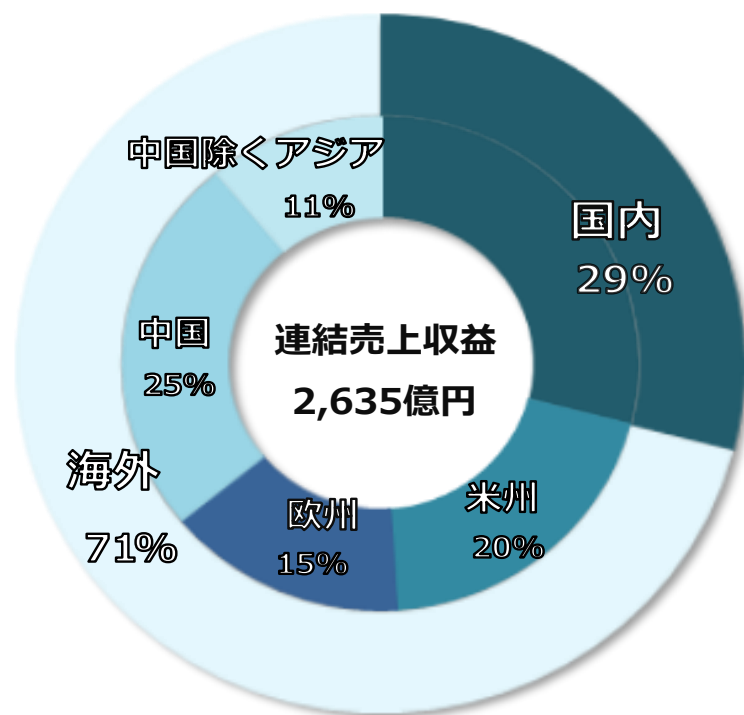
- ・ 欧米を中心に、すべての地域において前年同期比で増加

(単位：億円)	2023年度	2022年度	前 年 同 期 比	
	上期 実績	上期 実績	増減額	増減率
売 上 収 益	2,890	2,635	+254	+9.7%
国内	818	777	+41	+5.3%
海外	2,072	1,859	+213	+11.5%
米州	636	526	+109	+20.8%
欧州	458	382	+76	+20.0%
中国	687	664	+23	+3.4%
中国除くアジア	292	287	+5	+1.7%

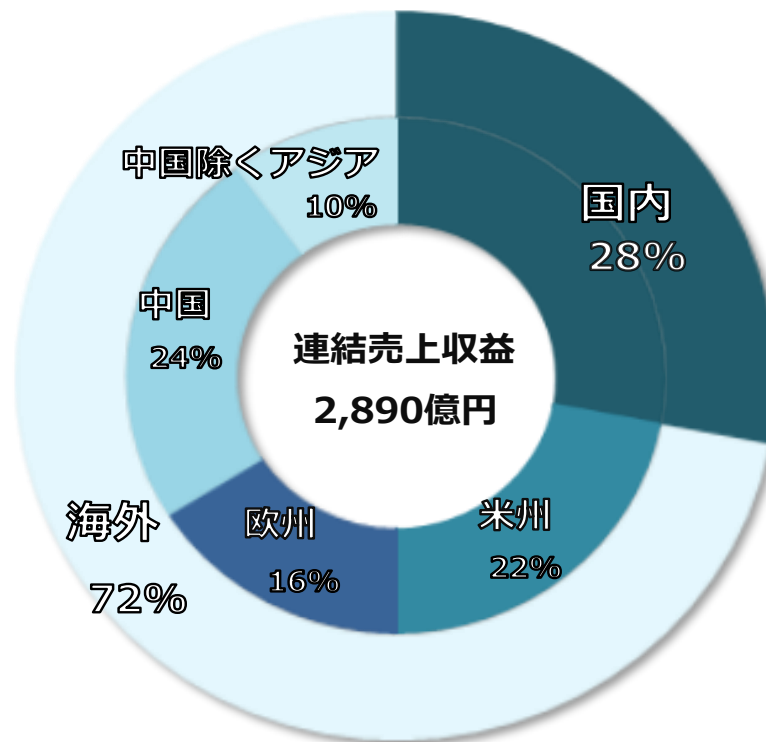
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

所在地別売上収益構成比

2022年度 上期

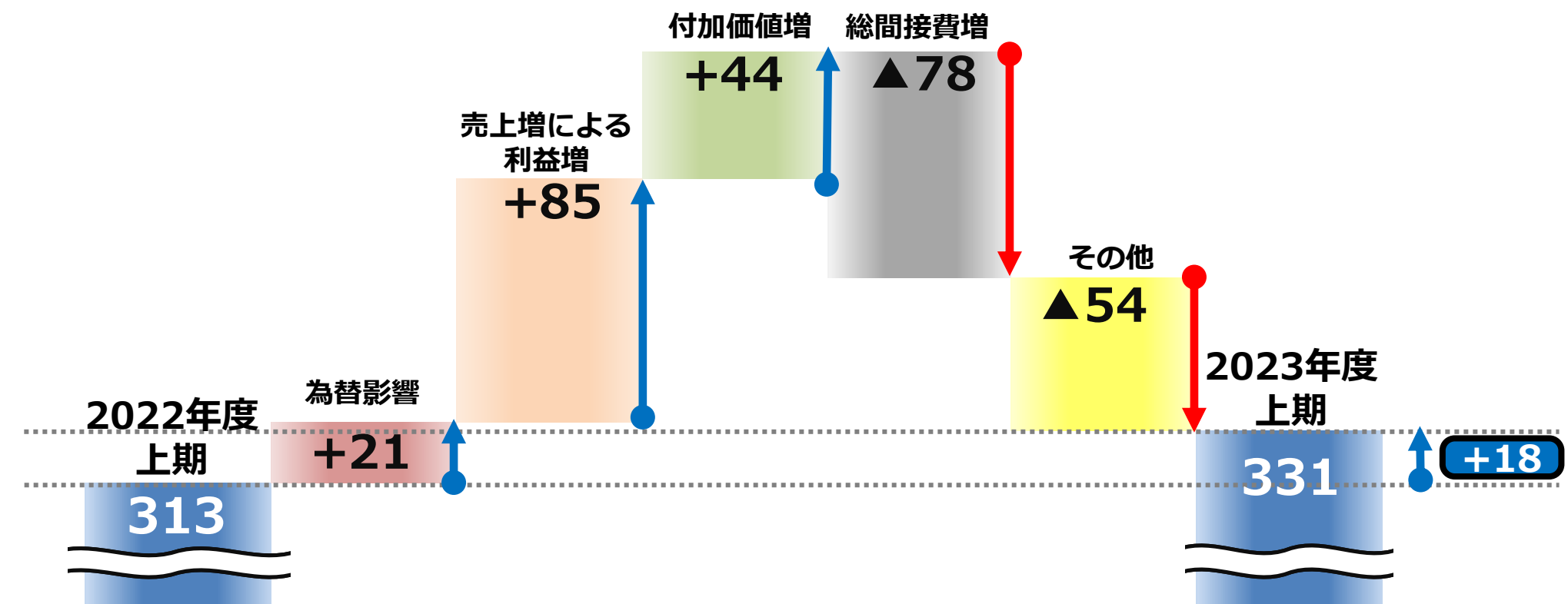


2023年度 上期



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2022年度 上期 → 2023年度 上期）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+9	+57	+23	▲43	+0
ロボット	+13	+22	+21	▲35	+0
システムエンジニアリング	▲0	+7	▲1	▲3	▲0
その他	+0	▲1	+1	+2	▲53

2023年度 上期の取り組み

➤ “i³-Mechatronics”のビジネスモデル確立

➔ 開発力の強化

- ・ 新型自律ロボット「MOTOMAN NEXTシリーズ」の市場投入に向けた準備を加速

➔ 生産力の強化

- ・ 内製化拡大を実現する無人稼働の国内ロボット機械加工工場の建設完了 (基幹鋳物部品の内製化)
- ・ 一貫生産体制の確立を目指し、
ロボット用サーボモータとロボットを生産する新工場の建設を計画 (本社地区, 25年稼働予定)

➔ 販売力の強化

- ・ i³-Mechatronicsを軸に事業部横断的な活動を通じた高付加価値提案を実施 (中国・太陽光パネル製造装置関連)

➤ デジタル経営の推進

- ・ YDX-II[※]の取組みとして、製品の品質情報をグローバルで共有し
不具合の未然防止を図る仕組みを構築

➤ サステナブルな社会/事業に寄与する経営基盤の強化

- ・ 欧米、中国拠点への経営理念教育展開によるグローバル従業員の理解深化
- ・ YASKAWAレポート2023での人的資本に関する開示情報の拡充 (2023年9月)

※YDX-II: YDXはYASKAWA Digital Transformationの略。YDX-Iで可視化した経営資源データを連携させ、製品ライフサイクル全体を通じた改革を実行



YASKAWAレポート2023

2. 2023年度 通期 連結業績見通し

2023年度 通期 見通し

- ・ 主要市場において需要が伸び悩んでいるものの、受注残の確実な消化や価格転嫁の促進などにより通期見通し(2023年4月7日公表)を据え置く

	2023年度 見通し	2022年度 実績	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売 上 収 益	5,800億円	5,560億円	+240億円	+4.3%
営 業 利 益	700億円	683億円	+17億円	+2.5%
税 引 前 利 益	727億円	711億円	+16億円	+2.2%
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益	513億円	518億円	▲5億円	▲0.9%

2023年度 通期 見通し（セグメント別）

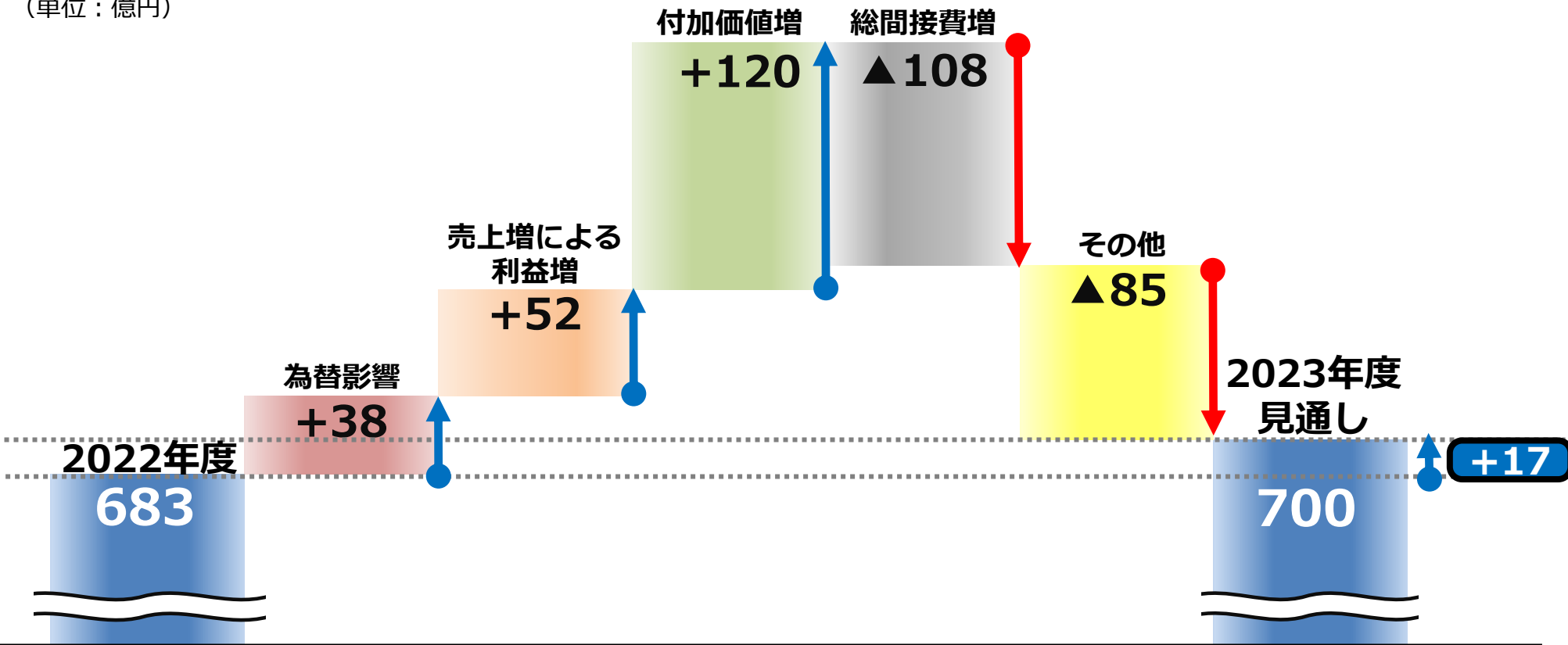
・セグメント別の通期見通しについては、足元の需要動向を考慮し修正

	2023年度		2022年度		前年同期比		2023年度	
	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率	前回見通し※	利益率
売上収益 (単位：億円)	5,800		5,560		+240	+4.3%	5,800	
モーションコントロール	2,710		2,521		+189	+7.5%	2,650	
ロボット	2,345		2,238		+107	+4.8%	2,450	
システムエンジニアリング	505		511		▲6	▲1.2%	470	
その他	240		289		▲49	▲16.9%	230	
営業利益	700	12.1%	683	12.3%	+17	+2.5%	700	12.1%
モーションコントロール	419	15.4%	362	14.4%	+57	+15.6%	390	14.7%
ロボット	301	12.8%	261	11.7%	+39	+15.0%	340	13.9%
システムエンジニアリング	18	3.6%	26	5.0%	▲8	▲30.1%	15	3.2%
その他	▲2	▲0.8%	18	6.2%	▲20	-	▲2	▲0.9%
消去または全社	▲35	-	16	-	▲51	-	▲43	-

※ 2023年4月7日 FY22 4Q決算発表時

営業利益増減要因分析（2022年度 → 2023年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+16	+54	+57	▲54	▲17
ロボット	+22	+10	+60	▲52	▲0
システムエンジニアリング	+0	▲7	▲5	+6	▲1
その他	+0	▲5	+9	▲9	▲66

2023年度 下期の取り組み

➤ “i³-Mechatronics”のビジネスモデル確立

➔ 開発力の強化

- ・ 新型自律ロボット「MOTOMAN NEXTシリーズ」の
確実な市場投入と新規自動化領域の開拓 (23年11月リリース予定)
- ・ i³-Mechatronics実証結果を踏まえた
YRM-Xシリーズの継続的進化 (マシンコントローラとの連携強化)
- ・ 半導体市場のお客さま動向を見据えた製品開発の加速

➔ 生産力の強化

- ・ ロボットの新機械加工工場の確実な立ち上げ (24年5月稼働予定)
- ・ インバータ事業の国内事業所再編における大容量機種 of 組立工程自動化・基板内製化に向けた
体制の構築 (福岡県行橋市)

➔ 販売力の強化

- ・ 実証事例の共有とYRM-Xシリーズの拡充によってi³-Mechatronicsのグローバル展開を加速
- ・ 故障情報・製造トレーサビリティデータを活用した製品・サービスの品質向上

➤ サステナブルな社会/事業に寄与する経営基盤の強化

- ・ 新中期経営計画「Realize 25」の利益目標に基づいた中長期インセンティブの設定

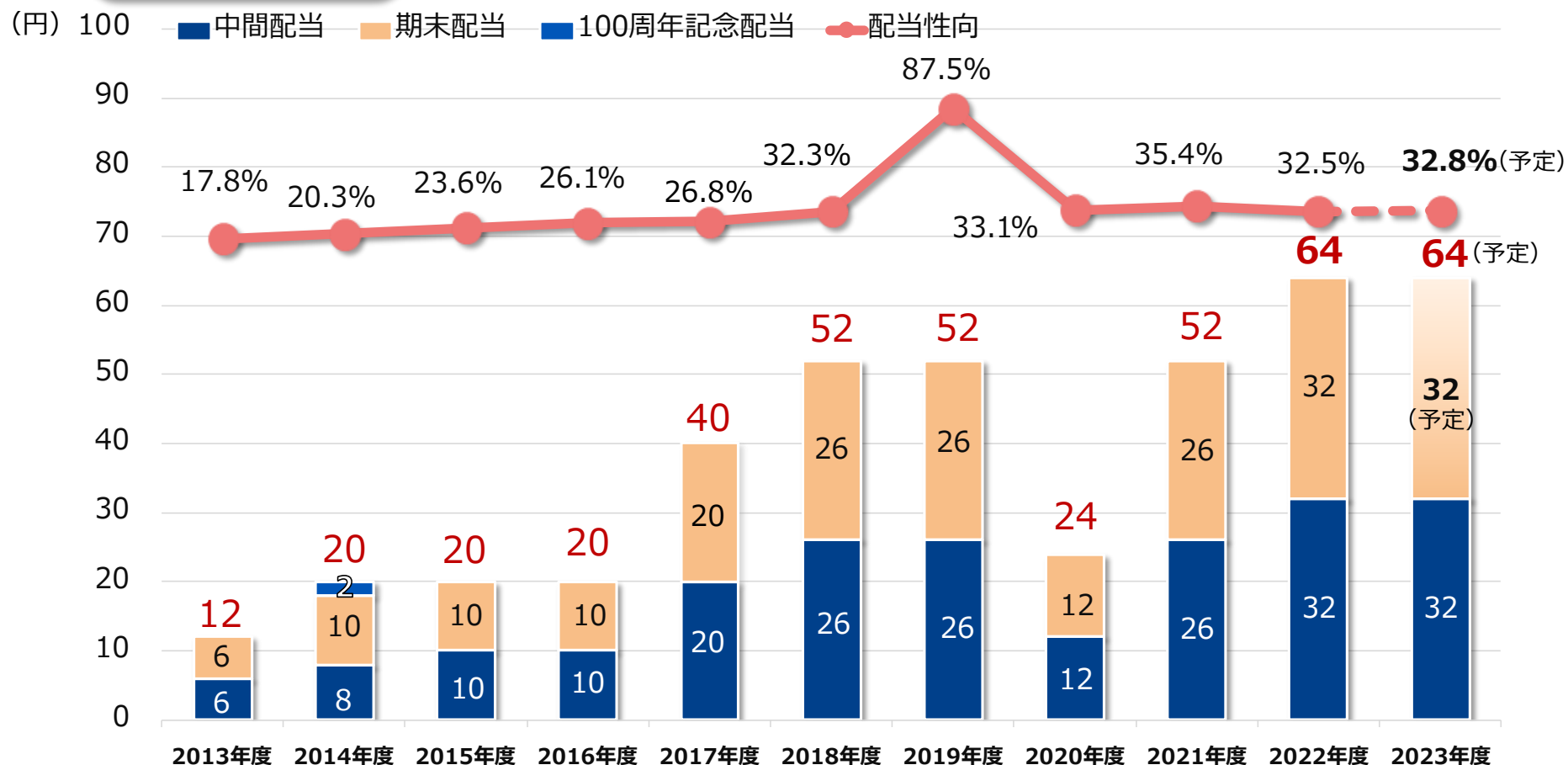


ロボット新機械加工工場の外観

株主還元（配当金推移）

- ・ 2022年度は前年度から12円増配の年間64円/株
- ・ 2023年度は前年度の配当額を維持し、年間64円/株を予定（配当性向32.8%）

配当金推移



3. 参考資料

設備投資・研究開発費, 為替レート, 感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位：億円)

	2021年度 (実績)	2022年度 (実績)	2023年度 (計画)
設備投資額	241.8	276.1	380.0
減価償却費	174.8	196.7	210.0
研究開発投資	181.8	187.8	190.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位：円)

	2021年度 (実績)			2022年度 (実績)			2023年度 (想定)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期(実績)	下期	通期
対 米ドル	109.5	113.5	111.5	129.9	138.6	134.1	138.8	145.0	141.9
対 ユーロ	130.8	130.1	130.4	136.8	143.0	139.8	151.0	155.0	153.0
対 元	16.92	17.77	17.33	19.59	19.77	19.68	19.61	20.00	19.81
対 ウォン	0.097	0.096	0.096	0.102	0.104	0.103	0.106	0.110	0.108

為替感応度

(単位：億円)

	1%変動による影響額目安 (2023年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	13.5	2.9
ユーロ	9.5	1.9
元	13.2	3.3
ウォン	3.2	1.7

[注] 通期における為替相場の安定が前提

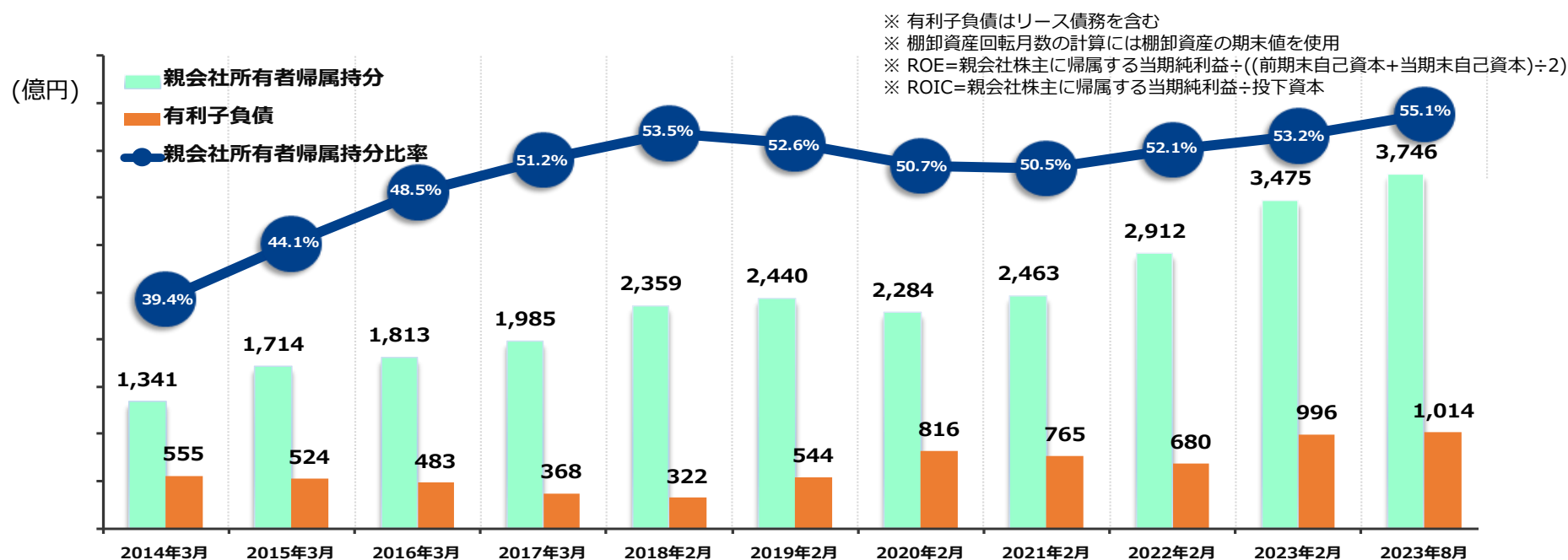
B/S 構造の推移

2023年2月28日時点

親会社所有者帰属持分比率	53.2%	棚卸資産	1,822億円
親会社所有者帰属持分	3,475億円	(回転月数)	(3.9ヶ月)
有利子負債	996億円	ROE	16.2%
D/Eレシオ	0.29	ROIC	14.6%
(ネットD/Eレシオ)	0.16		

2023年8月31日時点

親会社所有者帰属持分比率	55.1%	棚卸資産	1,990億円
親会社所有者帰属持分	3,746億円	(回転月数)	(4.1ヶ月)
有利子負債	1,014億円		
D/Eレシオ	0.27		
(ネットD/Eレシオ)	0.17		



(億円)

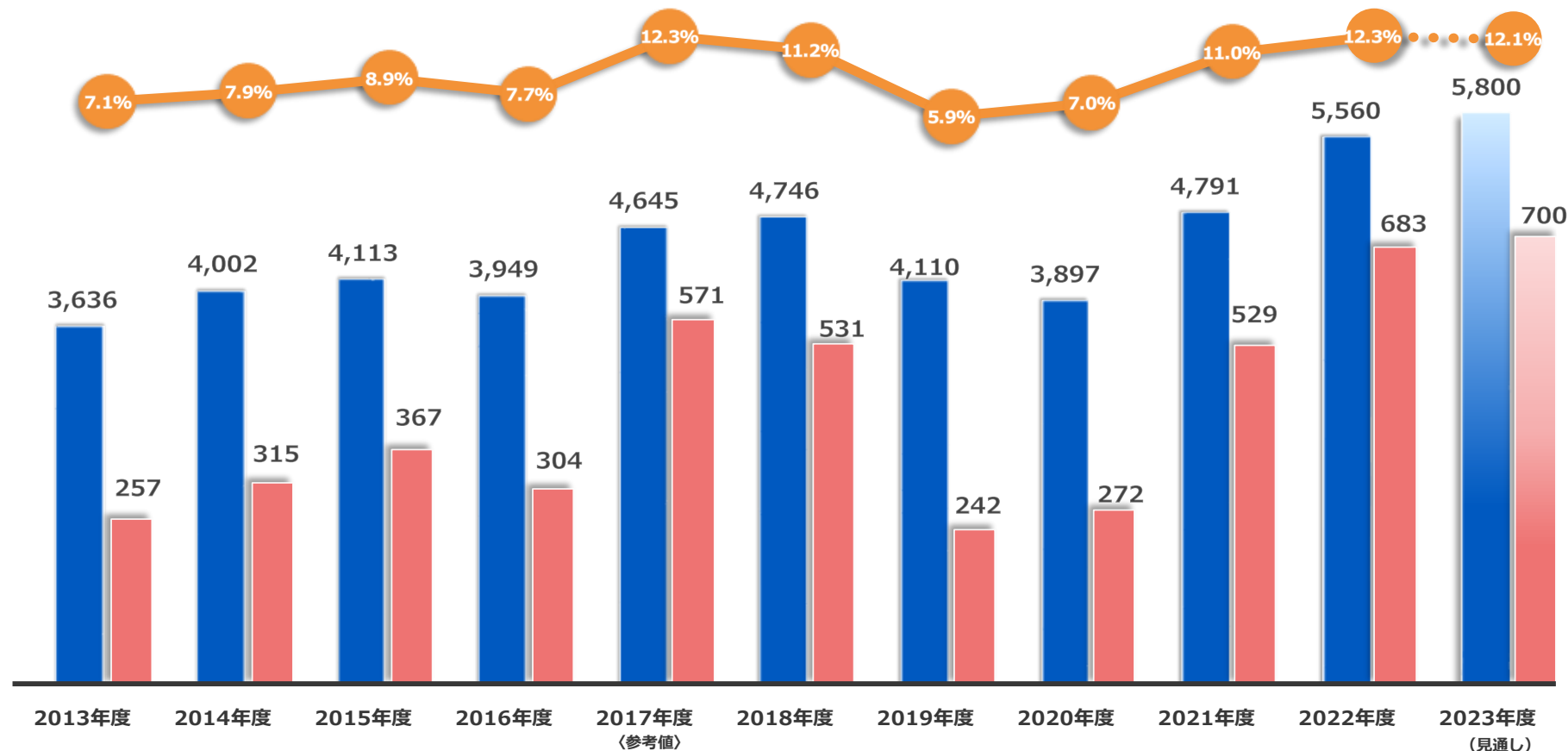
営業CF	240	290	320	338	461	343	215	396	492	▲ 22	178
投資CF	▲ 169	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 206	▲ 96	▲ 242	▲ 197	▲ 119
フリーCF	70	11	95	148	272	72	8	300	251	▲ 219	59

[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

売上収益・営業利益推移（2013年度～2023年度見通し）

（億円）

■ 売上収益 ■ 営業利益 — 営業利益率



Realize 100

Dash 25

Challenge 25 Plus

Realize
25

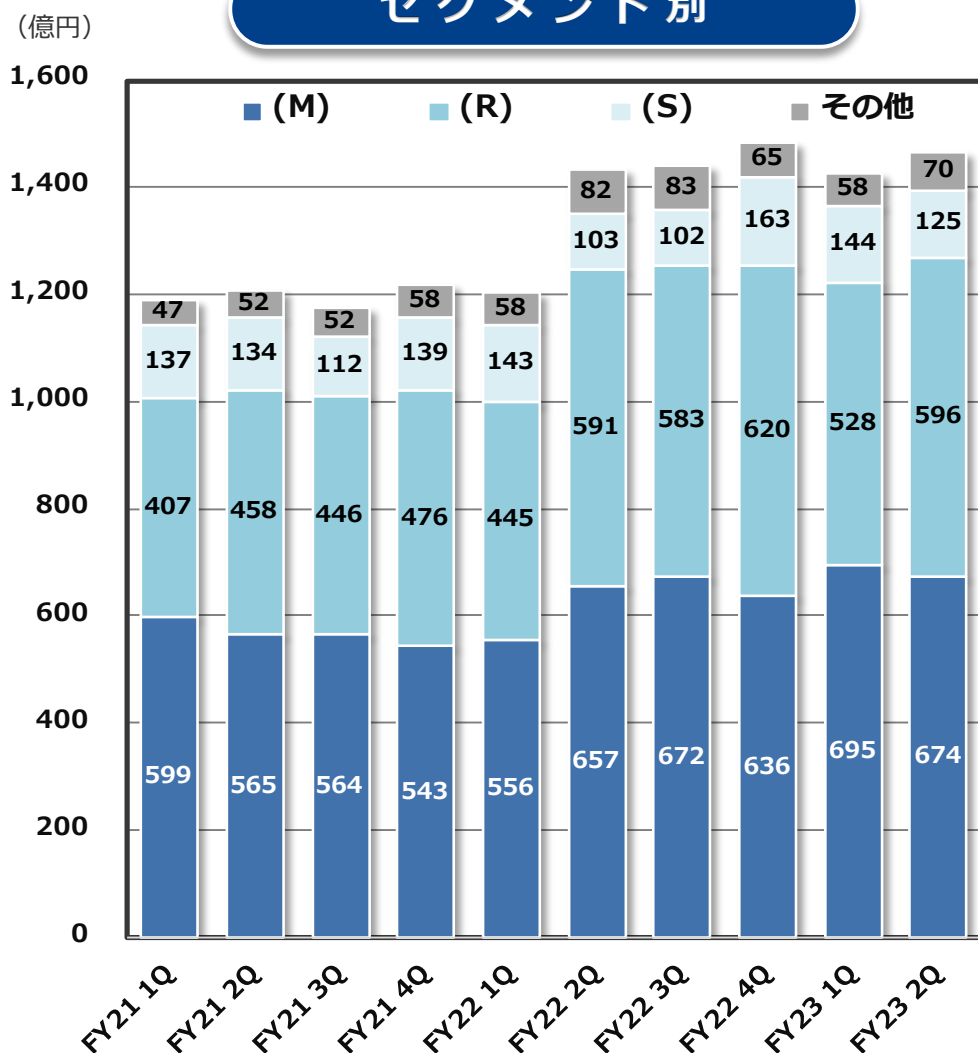
中期経営計画

[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

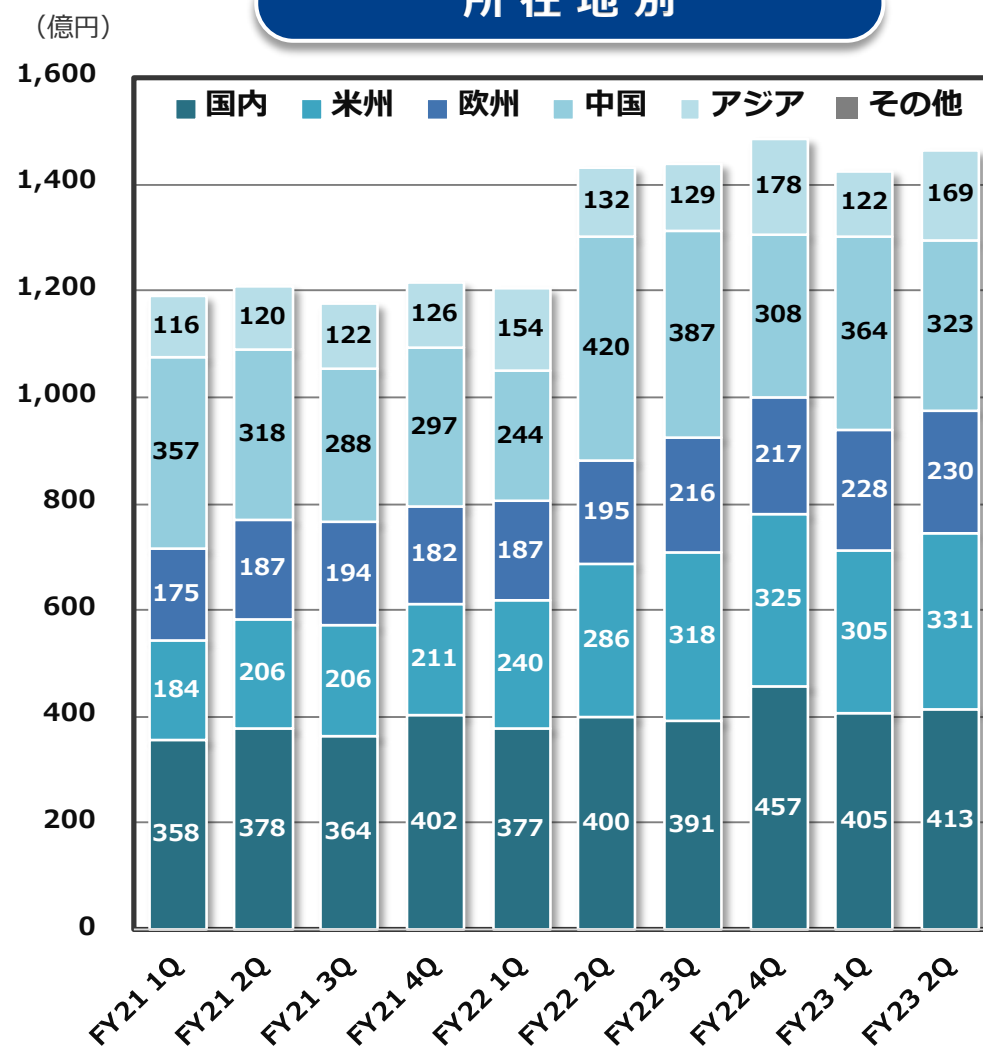
[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期売上収益推移

セグメント別



所在地別

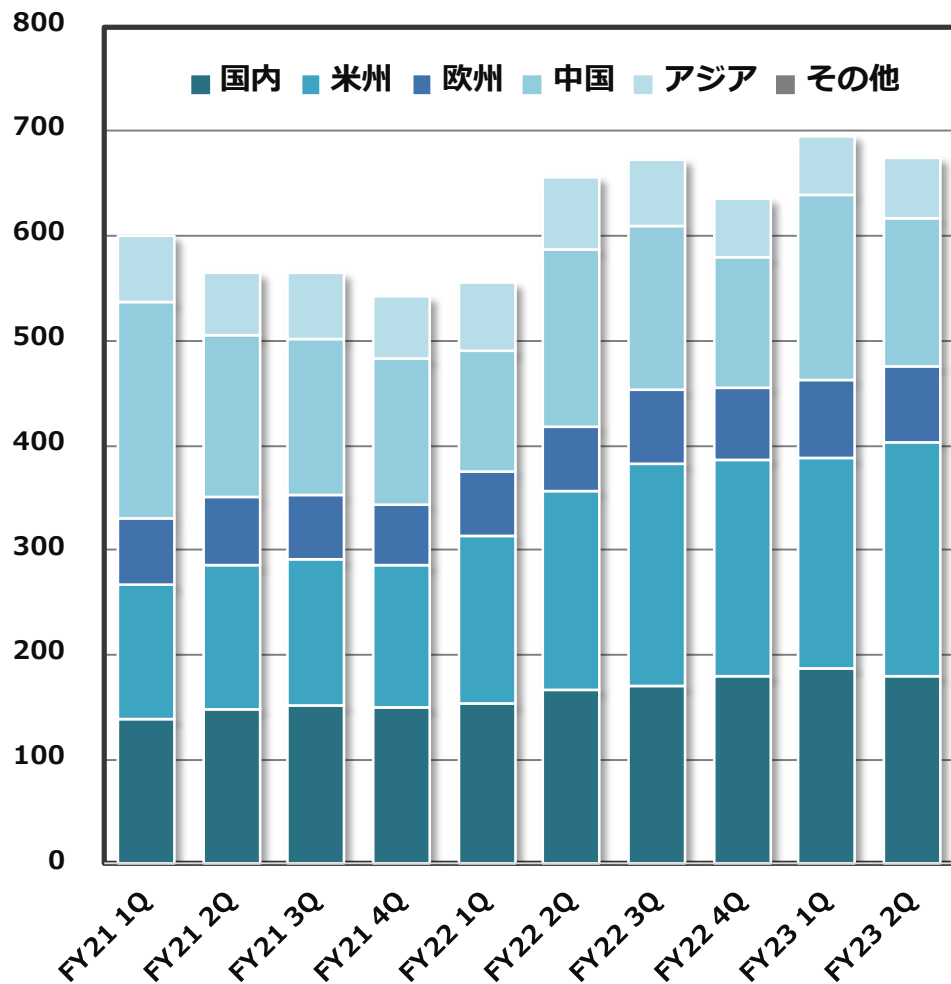


[注] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期売上収益推移

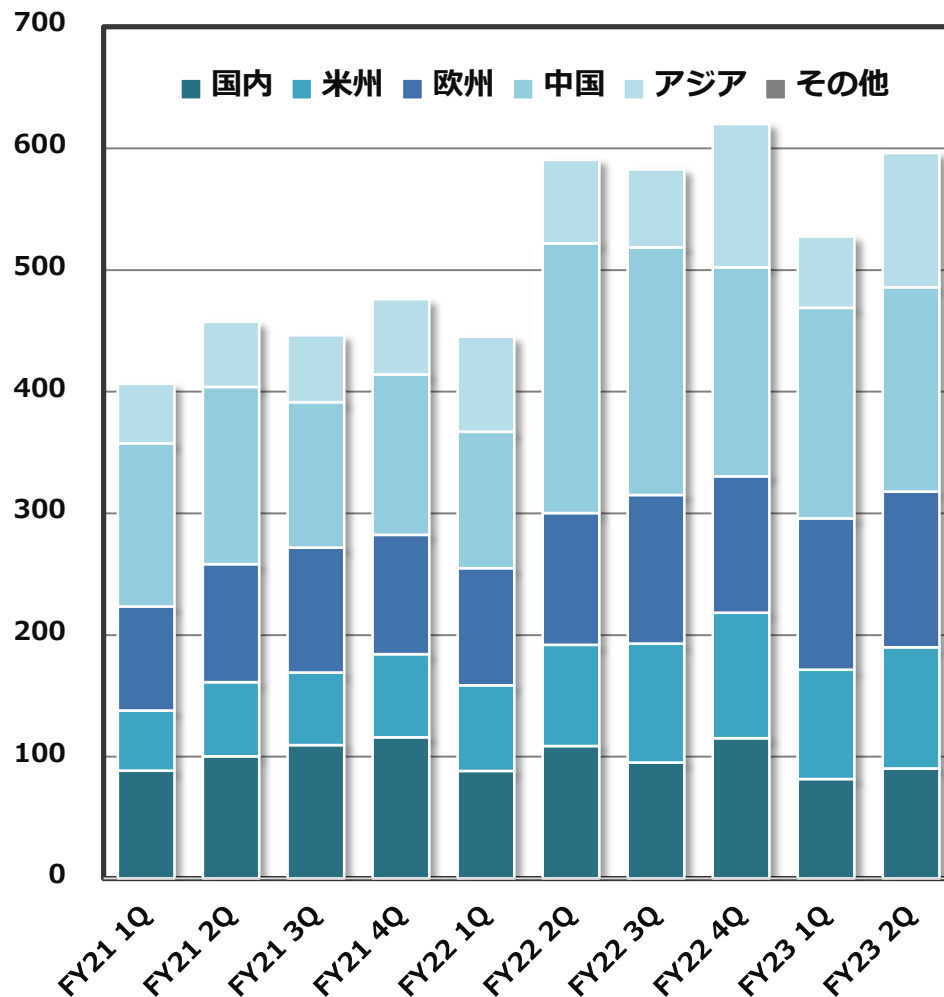
モーションコントロール

(億円)



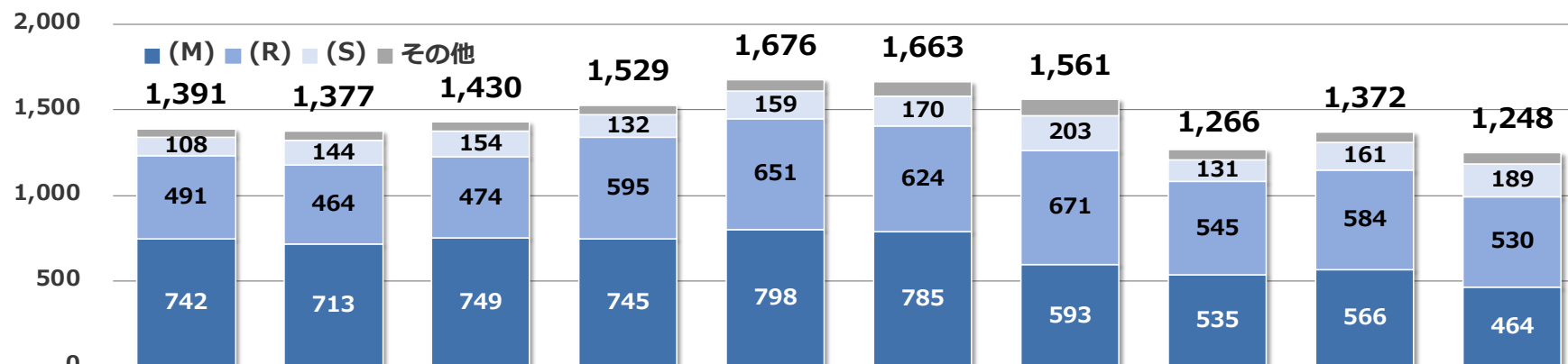
ロボット

(億円)



四半期受注推移（セグメント別）

※為替は期中平均レートを使用



		FY2021				FY2022				FY2023	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
全社	YoY	+47%	+59%	+45%	+32%	+21%	+21%	+9%	▲17%	▲18%	▲25%
	QoQ	+20%	▲1%	+4%	+7%	+10%	▲1%	▲6%	▲19%	+8%	▲9%

YoY	(M)	+70%	+89%	+67%	+36%	+7%	+10%	▲21%	▲28%	▲29%	▲41%
	(R)	+51%	+50%	+33%	+41%	+33%	+34%	+42%	▲9%	▲10%	▲15%
	(S)	▲18%	+20%	+18%	▲5%	+48%	+18%	+32%	▲1%	+1%	+11%

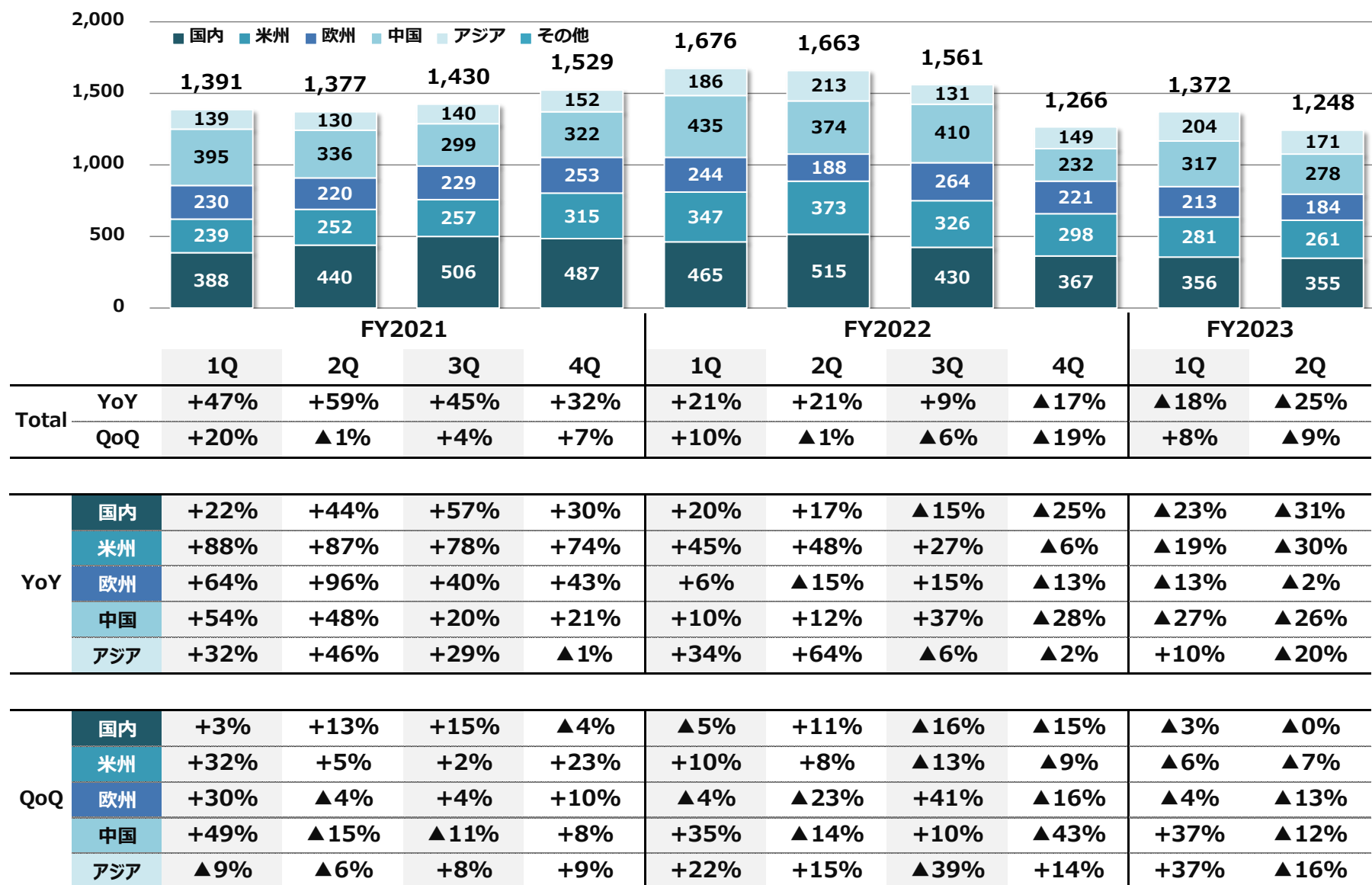
QoQ	(M)	+36%	▲4%	+5%	▲1%	+7%	▲2%	▲24%	▲10%	+6%	▲18%
	(R)	+17%	▲5%	+2%	+25%	+9%	▲4%	+8%	▲19%	+7%	▲9%
	(S)	▲23%	+34%	+6%	▲14%	+20%	+7%	+19%	▲35%	+23%	+17%

為替 レート	円/ドル	109.0	110.1	112.5	114.6	124.2	135.3	144.3	132.9	134.9	142.5
	円/ユーロ	130.7	130.9	130.5	129.7	134.3	139.3	143.9	142.0	146.1	155.7

[注] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

四半期受注推移（所在地別）

※為替は期中平均レートを使用



YASKAWA